

大山雪あそび

2月1-2日(土日) 大山青年の家



ビーバー隊通信

2月1~2日(土日) ビーバー隊|大山雪遊び

今回の大山も、雪が心配されましたが、普段の行いがよいのか、青年の家のゲレンデには前日の雪が残っていました。到着したら早速そり遊び。初めてのソリ遊びにスカウト達はドキドキしながらも慣れてくると頭から滑ったり、乗り方を変えてみたり、大きなソリに複数で乗ってみたい思いの工夫をしながら楽しく滑れました。

ソリ遊びの後は、雪の少ない中庭でボーイやベンチャーのお兄さん達がかき集めてくれた雪を使いクールダウンも兼ね雪の触感、想像力を膨らませるスノーランタン。カマクラ型、造形型、ボーイの試作品に触発され思いの形や色のランタンを作りました。夜のライトアップの時には、とても幻想的でした。

夜は、はじめてスカウト同士だけの宿泊。協力して朝もちゃんと早く起きれました。早起きして朝の新雪の森の中を動物の足跡を探して歩きました。上手に後ろの人にも見せてあげられるよう、ルールをまもりながら動物や、鳥の足跡観察ができました。恒例のみかんの宝探しゲームもしました。見つけたみかみをほうばりながら休憩。

炊事棟から外に出たら家族単位でスマホで拡大しての雪の結晶探し。きれいな結晶を確認できました。ヒョロッと立った木にめがけて雪玉を投げるゲーム。スカウトがはじめたのですが徐々に高さを競うゲームになり、お父さん達を交えた白熱したゲームになりました。上に乗ってどんどん投げて当たるとオー！オー！とみんなで盛り上がりました。

スカウトの考えた自然遊び。なかなかいいものを見せてもらいました。森から出た後の坂道を使ったゲームや室内に戻ってハリネズミのクラフト作り、今回の活動は修了時間いっぱいまで楽しみました。今年は、夏の大山の活動もあります。お楽しみに!! (ozaki)



カブ隊通信

2月1~2日(土日) カブ隊|大山雪遊び

全隊合同で大山青年の家に雪遊びを行ない、カブ隊はボーイ隊・ベンチャー隊と一緒に活動しました。

雪の量が微妙で現地に着くまでプログラムが定まらなかったのですが、幸運なことに雪が残っていたので迷わずスキーをすることにしました。大山青年の家指導員の指示のもと、スカウト達は最初に斜面の下の方で基礎的な訓練を受けた後、ロープのリフトで斜面の上まで登って初スキーを体験しました。スカウト達は慣れないスキー板に振り回されながらも何度か滑るうちに上達し、最後は楽しんで滑っていました。

夕食後はトランプでババ抜き大会。トランプのあるスカウトは持参するようにお願いしたのですが集まったトランプは2つだけ。悩んだ挙句、4人1チームとして4チームでババ抜きをすることにしました。トランプを引くのは代表の1人で引かれる方は4人でカードを分け持って待ち構える感じでゲームを進めました。これだと16人が一度にゲームに参加できるのですが、面白いかどうかは未知数。とりあえずやってみたら、これが意外と大盛り上がりで楽しむことができました。

翌日は9時から大山古道ハイク。大山青年の家指導員の案内で約3キロの道のりをハイクしました。大山の歴史についてのお話もあり、とても勉強になりました。大山青年の家に戻ってからは宝探し。保護者の方は森の妖精という設定で、スカウト達はカブ隊・ボーイ隊・ベンチャー隊混合で3つのチームに分かれて森の妖精が隠した宝物を探すといったものでした。このプログラムのねらいは、森の妖精のご機嫌を取ると隠し場所のヒントがもらえることでスカウト達に交渉力を身につけてもらうというもの。保護者の方には、それぞれが考えたいろいろな妖精を演じて頂いたおかげで、より一層楽しいプログラムになりました。ご協力に感謝感謝です。

今回の大山雪遊びは出発までに病気や怪我でたくさんの欠席者が出る事態になり、プログラムも現地の状況次第でどうなるかわからなかったため、たくさんの不安を抱えたままの始まりでしたが、保護者の方々のご協力とスカウト達の元気のおかげで楽しい活動となりました。本当にありがとうございました。(Shinohara)



カブ隊通信

2月16日(日) カブ隊|紙飛行機づくり(入団体験会)

今回は体験に来てくれたお友達と一緒に紙飛行機を作って遊びました。「どうすれば速くに飛ぶだろう?」材料や折り方、投げ方などそれぞれ工夫します。「こんなの作ったよ!」、「飛ばすから見て!」、「分厚い紙で作ってみたいから紙をください!」、「羽をちょっと上に向けてみたけど、飛ぶかな?」、「すげー! それ、どうやって作ったん?」など、いろいろな声が聞こえました。シンプルな遊びだからこそ、夢中になれる面白い活動になったと思います。途中、ギネス記録認定の折り方を紹介しましたが、ちょっと難しかったかな?スカウトたちの反応はいまいち?オリジナルをブラッシュアップする方に興味が向いていた様子。投げでは調整、投げでは調整、調整を重ね、とうとう、大研修室の端から端まで飛ばすスカウトも現れました。ギネス記録の64mを超える紙飛行機をつくるスカウトが現れるのも遠くないかも!? (sakai)

2月23日(日)カブ月の輪隊隊|隊集会(吉備津神社清掃)

前回に引き続き、初級課程の訓練を行いました。植田倅成くんは月の輪隊の課程を修了し、ボーイ隊の班長と隊長にも認めもらうことができました。さあ、4月からボーイ隊の楽しい活動が待っている!(sakai)



ボーイ隊通信

2月23日(日)ボーイ隊|隊集会(吉備津神社清掃&月輪隊2回目)

先月に続き、月輪隊(1名)との合同活動を行いました。国旗儀礼、笛の合図等々基本訓練を行い、班長会議の承認を得て、4月からボーイ隊の仲間となりました。宜しくお願いします。

今回、ちょうどBP祭の時期だったので、ショートケーキでお祝いました。(kawahara)



ビーバー隊通信

2月16日(日) ビーバー隊|スカウトいらっしゃ〜(入団体験会)

今回は体験会に来てくれた子たちと一緒に、工作と奉仕活動の説明を主眼に据えた活動を行いました。

まず開会式を一通り、それから紙コップを使った工作をしました。工作では創造性を発揮してもらおうと思い、あえてシンプルな形であり細かい説明抜きで作ってもらいました。集中して絵を描いたり、形にこだわったり、飽きてしまったりと色々でしたが、飽きた子には即席の糸電話などで目先を変えてみました。

次にいつも行っている奉仕活動として、エコキャップかぞえを実施しました。キャップ800個でワクチン1本分になることなど、簡単に意義を説明しました。スカウトも、体験の子も一生懸命に数えてくれたのが印象的でした。次回はもうビッグビーバーさよならハイクなんですね。さみしいです(ujihira)



団のうごき

2月16日(日)入団体験会(吉備公民館)

結局一日中降り続けた雨でしたが、体験会は20組以上のご家族が来られて大賑わいでした。白眉は手伝いに来てくれたボーイ隊の三宅君。何か一言みんなの前でしゃべって頼んだら、「しゃべるのは苦手だから質疑応答にしてください」とのこと。そのほうがよっぽど難しいと思いましたが、いざ始めてみると保護者からのさまざまな質問に飾らずそつなく中学生らしく答えて、一同びっくり。最後は拍手喝采で彼のコーナーを終えました。

